

令和5年度 岐阜県アレルギー疾患対策推進協議会 議事概要

日 時 令和5年7月11日（火） 14時から15時まで

開催方法 オンライン開催

出席者 磯貝 光治：（一社）岐阜県医師会 常務理事

川本 典生：岐阜大学医学部附属病院小児科 准教授

西垣 公順：（公社）岐阜県歯科医師会 常務理事

青木 京子：（公社）岐阜県看護協会 会長

長屋 紀美江：（公社）岐阜県栄養士会 会長

鈴木 昭夫：（一社）岐阜県薬剤師会 副会長

酒井 昌代：岐阜市立日野小学校 校長

樋口 あゆみ：患者会代表（西濃アレルギーの会 HUG 代表）

寺本 貴英：岐阜県喘息・アレルギー系疾患対策事業連絡協議会委員長

田中 清香：岐阜市保健所地域保健課 主査

事務局 井上 玲子：岐阜県健康福祉部保健医療課 課長

堀田 広将： // 課長補佐兼難病対策係長

神谷 季歩： // 主事

1. 報告事項

○アレルギー疾患対策の実施状況等について

令和4年度の本県におけるアレルギー疾患対策の実施状況について事務局から報告

- ・県保健医療課におけるアレルギー疾患対策に係る事業について
- ・県及び市町村におけるアレルギー疾患対策に係る取組状況について
- ・前回協議会における主な意見に対する対応状況について

令和4年度の拠点病院における取組の実施状況について川本委員から報告

- ・勉強会、市民公開講座、セミナー等の開催について
- ・学校現場のアレルギー疾患電子メール相談事業について

○アレルギー疾患実態調査及び県ホームページへの掲載案について

アレルギー疾患実態調査及び県ホームページ掲載案について事務局から報告

- ・アレルギー疾患実態調査結果について
- ・アレルギー専門医が在籍する医療機関情報の県ホームページ掲載について

2. 議事

○第8期岐阜県保健医療計画について

現計画の達成状況及び次期計画の素案について事務局から説明

→それぞれの立場から意見交換等を実施（主な意見等は別紙のとおり）

別紙

令和5年度 岐阜県アレルギー疾患対策推進協議会における主な意見等について

■県及び市町村におけるアレルギー疾患対策に係る取組状況について

- ・取組状況が項目ごとに分類されておらず、分かりづらい。予算化されている事業が少なく感じられ、スタッフの努力で成り立っている部分が多いのでは。継続的に事業を進められる体制づくりが必要。

■アレルギー疾患に関する啓発及び知識の普及について

- ・「アレルギー疾患に関する啓発及び知識の普及について、両親学級等の機会を活用し、出生前から保護者等への適切な情報提供に取り組むこと」とされたことにより、アレルギーセンターのWEBサイトにQ&Aを公開した。妊婦さん向けに成育医療センターが「アレルギー予防オンライン教室」として動画を広く公開しているため、一般の皆様にも活用していただくとよいと考えている。

■学校におけるアレルギー対応について

- ・学校でのアレルギー対応が行き過ぎたものになっていないか、かえって子供の自立を妨げるのではないか、ということを保護者にも理解してもらい、家でも学校でも同様の対応をする必要がある。
- ・学校生活管理表については、どこまで許可するかの判断や学校での対応が困難になることから、「ダメなものはダメ」と割り切って記入している。
- ・学校で疑問を持った時には、保護者と一緒に受診し、疑問を取り除いてもらえればよい。

■アレルギー専門医が在籍する医療機関情報の県ホームページへの掲載案について

- ・掲載案に掲載されている医療機関数が少ない。
- ・患者会で紹介している医療機関が掲載案に載っていない。
- ・掲載案に「特に力を入れていること」の記載があり、患者が受けたい治療に合わせて医療機関を選んだり、患者会からアドバイスしたりしやすくなるのでありがたい。

■第8期保健医療計画について

- ・県拠点病院の数を増やすことよりも内容が重要。
- ・患者相談窓口は看護師や各市町村保健師の役割でもあるので、協力をお願いしたい。

■その他

- ・ハチ毒アレルギーが実際に問題となっているのは林業関係者である。岐阜県は林業が盛んなので、保健医療課が主体となって取り組むのか、または林政と協力して取り組むのか、話を詰めているところ。
- ・舌下免疫療法を受けている患者の歯科治療については、症例毎に相談いただきたい。
- ・災害対策の中での食品の備蓄状況についても継続的に話題に上げていきたい。引き続き検討をお願いしたい。